

審査項目の評点の算出方法（県内・コンサルタント等業務）

測量、地質調査、建設コンサルタント、補償コンサルタント、建築設計監理および建築設備設計監理については、下記により業種別および部門別の評点の算定し、それぞれ順位付けをします。（一般調査（土木）については、評点の算定は行いません。）
なお、新規に入札参加された方は最下位の順位付けになります。

1 評点の算出方法

(1) 業種別の評点の算定方法

$$\text{評点} = 3 \times A + B + C + 5 \times D + E + F + G + H \quad (\text{満点305点})$$

A：直前2年平均実績高の点数（2点～30点）

※下記点数テーブルにより算定。下記B以下同じ。

B：運転資本保有月数の点数（2点～15点）

$$\text{運転資本保有月数} = (\text{流動資産} - \text{流動負債}) / (\text{総売上高} / 12)$$

C：完成業務高経常利益率の点数（2点～15点）

$$\text{完成業務高経常利益率} = \text{税引き前当期利益（経常利益）} / \text{総売上高} \times 100$$

D：有資格者数の点数（0点～30点）

※建築設計監理および建築設備設計監理については、有資格者数の点数付与を行いません。

E：営業年数の点数（3点～25点）

F：県内営業所の点数（1点～5点）

G：入札参加停止歴の点数（-15～0点）

H：ISO認証取得の点数（0点～5点）

各評価項目の点数

A(=直前2年平均実績高)の点数テーブル

直前2年平均実績高	点数
100億円以上	30
50億円以上 100億円未満	25
10億円以上 50億円未満	20
5億円以上 10億円未満	16
1億円以上 5億円未満	12
5千万円以上 1億円未満	8
3千万円以上 5千万円未満	6
1千万円以上 3千万円未満	4
1千万円未満	2

B(=運転資本保有月数)の点数テーブル

運転資本保有月数	点数
3.0以上	15
2.0以上 3.0未満	12
1.0以上 2.0未満	10
0.5以上 1.0未満	8
0.0以上 0.5未満	6
-1.0以上 0.0未満	4
-1.0未満	2

C(=完成業務高経常利益率)の点数テーブル

完成業務高経常利益率	点数
5.0%以上	15
4.0%以上 5.0%未満	12
3.0%以上 4.0%未満	10
2.0%以上 3.0%未満	8
1.0%以上 2.0%未満	6
0%以上 1.0%未満	4
0%未満	2

D(=有資格者数)の点数テーブル

技術者数値	点数
100ポイント以上	30
100ポイント未満	技術者数値×0.3

※技術者数値の詳細については次頁

D 技術者数値の算出は下記のとおりです。

業種区分	有資格者		
	A (5ポイント)	B (2ポイント)	C (1ポイント)
測量	測量士	測量士補	
地質調査	技術士(認定技術管理者含む)	地質調査技士	
建設コンサルタント	技術士(認定技術管理者含む) 1級建築士	1級土木施工管理技士 RCCM登録者 2級建築士	その他有資格者 技術士補 第一種下水道技術検定合格者 農業土木技術管理士 林業技士
補償コンサルタント		補償業務管理士	その他有資格者 補償コンサルタント認定専任管理者

$$\text{技術者数値} = 5\text{ポイント} \times \text{Aの人数} + 2\text{ポイント} \times \text{Bの人数} + 1\text{ポイント} \times \text{Cの人数}$$

E(=営業年数)の点数テーブル

営業年数	点数
35年以上	25
25年以上 35年未満	20
15年以上 25年未満	15
10年以上 15年未満	10
5年以上 10年未満	6
5年未満	3

G(=入札参加停止歴)の点数テーブル

入札参加停止月数	点数
12月以上	-15
9月以上 12月未満	-12
6月以上 9月未満	-9
3月以上 6月未満	-6
0.5月以上 3月未満	-3

(令和3年1月1日～令和4年12月31日の
2年間の停止歴)

F(=県内営業所)の点数

$$E\text{の点数} \times 0.2 \text{ (小数点未満切り上げ)}$$

H(=ISO認証取得)の点数

	点数
ISO9001の取得	3
ISO14001の取得	2

※申請日以前に取得したもの

(2) 部門別の評価方法

評価を行う部門：測量の各部門、建設コンサルタントの各部門

評価の方法：直前2年平均実績高により順位付けを行います。